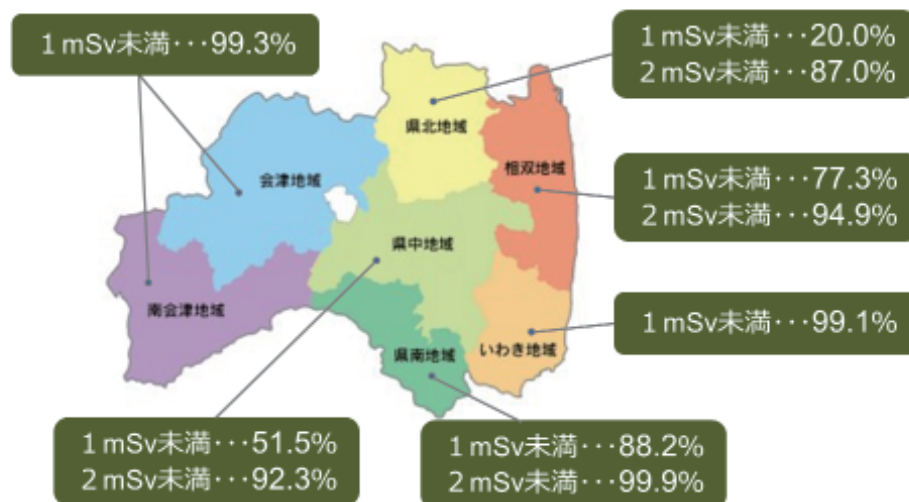


## 地域別の外部被ばく実効線量の推計結果（放射線業務従事経験者を除いた46万5999人）



## 実効線量推計結果の評価

これまでの疫学調査により100mSv以下での明らかな健康への影響は確認されていないことから、4か月間の外部被ばく実効線量推計値ではあるが、「放射線による健康影響があるとは考えにくい」と評価される。

第35回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

2019年3月31日現在までに推計が行われた累計55万3,931人のうち、推計期間4か月間すべての行動記録を提出いただいた方が47万5,190人。そこから放射線業務従事経験者を除いた46万5,999人の推計結果を地域別に示したものです。地域別にみると、県南地域では88.2%、会津・南会津地域では99.3%、相双地域では77.3%、いわき地域では99.1%の方が1ミリシーベルト未満となっています。また、最大値は相双地域の方の25ミリシーベルトでした。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2020年3月31日